

ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース/Bコース

運用報告書(全体版)

第13期(決算日2016年11月18日)

作成対象期間(2015年11月19日～2016年11月18日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2003年11月19日から2018年11月18日(当初、2013年11月18日)までです。	
運用方針	世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して投資銘柄を選定します。	
	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース/Bコース マザーファンド	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券を主要投資対象とします。 世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース/Bコース マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	毎決算時に、原則として繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	ナスダック・バイオテック指数 (円ヘッジベース)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
9期(2012年11月19日)	14,107	400	30.6	171.90	41.4	100.2	—	2,098
10期(2013年11月18日)	20,010	800	47.5	277.03	61.2	96.9	—	2,889
11期(2014年11月18日)	24,550	850	26.9	376.66	36.0	97.5	—	2,925
12期(2015年11月18日)	26,844	1,000	13.4	426.40	13.2	91.1	—	2,792
13期(2016年11月18日)	21,329	1,000	△16.8	369.06	△13.4	100.5	—	9,401

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=ナスダック・バイオテック指数(円ヘッジベース))は、ナスダック・バイオテック指数(US\$ベース)を当社が独自にヘッジコストを考慮して円換算したものです。
(出所) ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	ナスダック・バイオテック指数 (円ヘッジベース)	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2015年11月18日	26,844	—	426.40	—	91.1	—
11月末	27,707	3.2	441.67	3.6	93.2	—
12月末	27,264	1.6	444.22	4.2	92.2	—
2016年1月末	20,926	△22.0	340.93	△20.0	95.9	—
2月末	20,146	△25.0	337.77	△20.8	94.9	—
3月末	20,094	△25.1	329.42	△22.7	93.7	—
4月末	21,869	△18.5	358.43	△15.9	98.1	—
5月末	21,964	△18.2	355.81	△16.6	97.4	—
6月末	20,575	△23.4	329.62	△22.7	95.7	—
7月末	22,949	△14.5	370.03	△13.2	93.8	—
8月末	22,263	△17.1	363.74	△14.7	94.4	—
9月末	22,080	△17.7	367.04	△13.9	93.2	—
10月末	20,094	△25.1	333.87	△21.7	90.9	—
(期末)						
2016年11月18日	22,329	△16.8	369.06	△13.4	100.5	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税金分配	みり騰落	ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)	期中騰落			
	円	円	%		%	%	%	百万円
9期(2012年11月19日)	12,325	200	38.2	156.21	50.3	96.8	—	2,282
10期(2013年11月18日)	20,952	800	76.5	310.85	99.0	95.8	—	6,219
11期(2014年11月18日)	29,498	1,030	45.7	492.84	58.5	96.0	—	7,444
12期(2015年11月18日)	33,447	1,500	18.5	593.89	20.5	92.7	—	11,791
13期(2016年11月18日)	23,881	1,000	△25.6	464.65	△21.8	100.8	—	12,791

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=ナスダック・バイオテック指数(円換算ベース))は、ナスダック・バイオテック指数(US\$ベース)を当社が独自に円換算したものです。
(出所)ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)	騰落率		
(期首) 2015年11月18日	円	%		%	%	%
11月末	33,447	—	593.89	—	92.7	—
12月末	34,364	2.7	612.50	3.1	91.4	—
2016年1月末	33,377	△0.2	605.59	2.0	92.9	—
2月末	25,480	△23.8	466.13	△21.5	97.0	—
3月末	23,100	△30.9	434.37	△26.9	96.5	—
4月末	22,942	△31.4	420.52	△29.2	93.9	—
5月末	24,410	△27.0	446.10	△24.9	97.7	—
6月末	24,737	△26.0	447.97	△24.6	97.4	—
7月末	21,549	△35.6	385.36	△35.1	95.7	—
8月末	24,393	△27.1	439.43	△26.0	93.8	—
9月末	23,439	△29.9	427.37	△28.0	94.3	—
10月末	22,751	△32.0	423.20	△28.7	93.2	—
11月末	21,449	△35.9	399.79	△32.7	90.9	—
(期末) 2016年11月18日	24,881	△25.6	464.65	△21.8	100.8	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

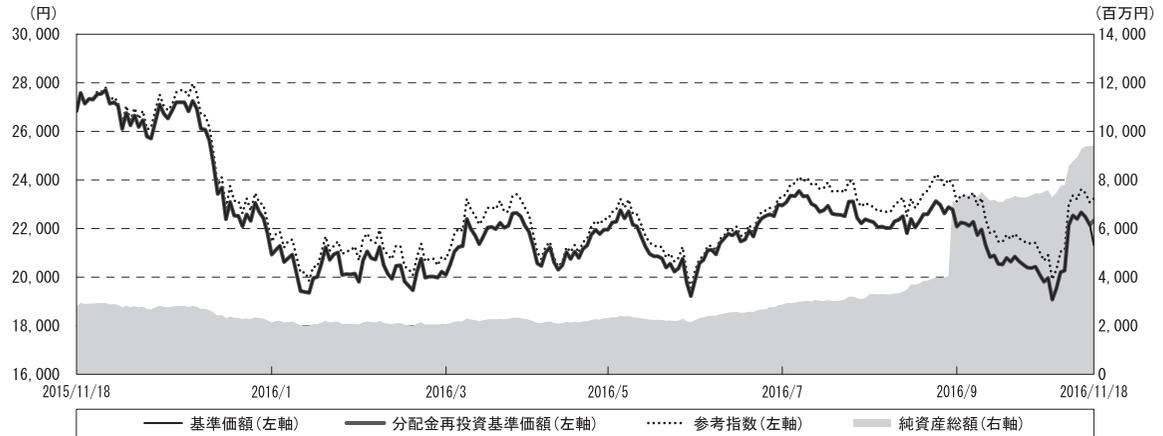
*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：26,844円

期 末：21,329円(既払分配金(税込み)：1,000円)

騰落率：△16.8%(分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2015年11月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数(円ヘッジベース)です。作成期首(2015年11月18日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首26,844円から期末21,329円となりました。

- (下落) 2015年11月開催のOPEC(石油輸出国機構)総会において原油減産見送りが決定され原油価格が下落したこと、中国経済の成長鈍化懸念が高まったこと
- (下落) 米大統領選挙キャンペーンにおいて、薬価引き下げや規制強化を訴える候補が躍進したこと、英国のEU(欧州連合)離脱の是非を問う国民投票の結果、離脱派が勝利し、投資家心理が悪化したこと

<Aコース>

- (上昇) 世界の主要中央銀行が英国発の世界的混乱に対応し金融緩和策を実施するとの期待が高まったこと、中国の4－6月期GDP（国内総生産）成長率が市場予想を上回ったこと
- (下落) 7－9月期決算で、業績の下方修正を発表するバイオテクノロジー企業が相次いだこと、オランダのジェネリック医薬品メーカーのアレルギー治療薬の値上げを巡り、米民主党上院議員による批判が強まったこと
- (上昇) 11月の米大統領選で大方の予想に反し共和党トランプ氏が勝利し、過度の薬価引き下げ圧力に対する懸念が後退したこと

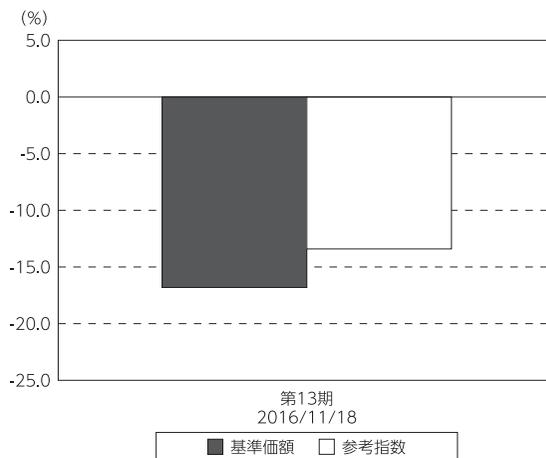
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているナスダック・バイオテック指数（円ヘッジベース）の13.4%の下落に対し、基準価額は16.8%の下落となりました。主なマイナスの差異要因としては、米国FDA（食品医薬品局）により筋ジストロフィー治療の申請が認められなかった米バイオ医薬品会社や、高齢者を対象とした呼吸器感染症治療薬の試験で有効性が示されなかったと発表した米バイオテクノロジー会社の株価が下落したことなどがあげられます。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数（円ヘッジベース）です。

<Aコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり1,000円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第13期
	2015年11月19日～ 2016年11月18日
当期分配金 (対基準価額比率)	1,000 4.478%
当期の収益	—
当期の収益以外	1,000
翌期繰越分配対象額	14,110

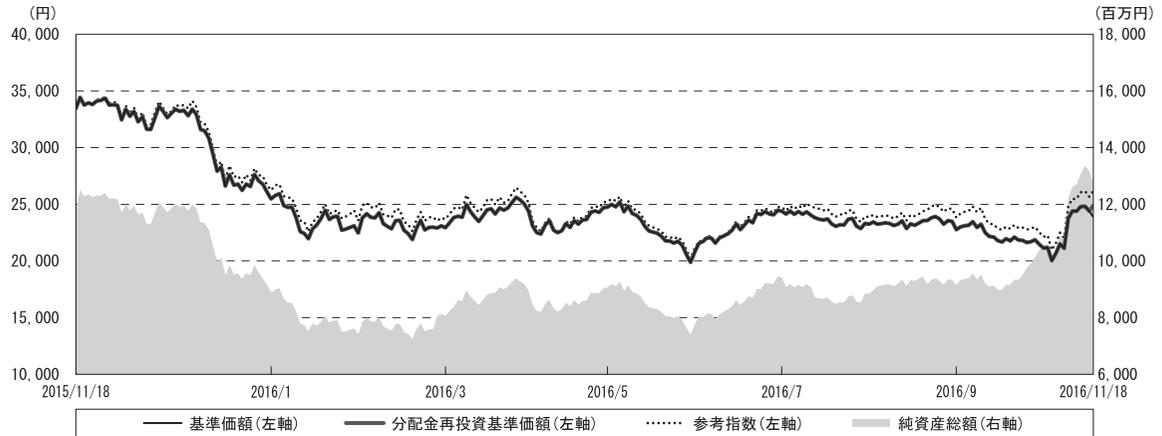
(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：33,447円

期 末：23,881円(既払分配金(税込み)：1,000円)

騰落率：△25.6%(分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2015年11月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数(円換算ベース)です。作成期首(2015年11月18日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首33,447円から期末23,881円となりました。

- (下落) 2015年11月開催のOPEC(石油輸出国機構)総会において原油減産見送りが決定され原油価格が下落したこと、中国経済の成長鈍化懸念が高まったこと、為替市場で円高の動きが強まったこと
- (下落) 米大統領選挙キャンペーンにおいて、薬価引き下げや規制強化を訴える候補が躍進したこと、英国のEU(欧州連合)離脱の是非を問う国民投票の結果、離脱派が勝利し、投資家心理が悪化したこと

<Bコース>

- (上昇) 世界の主要中央銀行が英国発の世界的混乱に対応し金融緩和策を実施するとの期待が高まったこと、中国の4－6月期GDP（国内総生産）成長率が市場予想を上回ったこと、為替市場で円安の動きが強まったこと
- (下落) 7－9月期決算で、業績の下方修正を発表するバイオテクノロジー企業が相次いだこと、オランダのジェネリック医薬品メーカーのアレルギー治療薬の値上げを巡り、米民主党上院議員による批判が強まったこと
- (上昇) 11月の米大統領選で大方の予想に反し共和党トランプ氏が勝利し、過度の薬価引き下げ圧力に対する懸念が後退したこと、為替市場でドル高（円安）が進んだこと

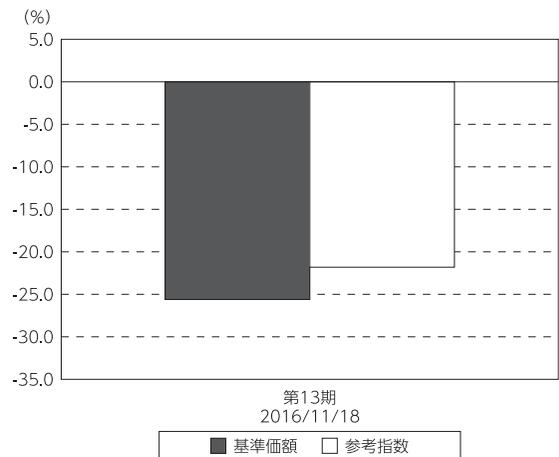
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）の21.8%の下落に対し、基準価額は25.6%の下落となりました。主なマイナスの差異要因としては、米国FDA（食品医薬品局）により筋ジストロフィー治療の申請が認められなかった米バイオ医薬品会社や、高齢者を対象とした呼吸器感染症治療薬の試験で有効性が示されなかったと発表した米バイオテクノロジー会社の株価が下落したことなどがあげられます。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）です。

<Bコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり1,000円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第13期
	2015年11月19日～ 2016年11月18日
当期分配金	1,000
(対基準価額比率)	4.019%
当期の収益	—
当期の収益以外	1,000
翌期繰越分配対象額	13,880

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

世界の株式市場は、2015年11月開催のOPEC総会において原油減産の見送り決定などから原油価格が下落基調となったことや、中国経済の成長鈍化懸念が高まったことなどから、2016年1月下旬にかけ下落しました。その後、中国政府による景気刺激策への期待が高まったことや、2016年3月のFOMC（米連邦公開市場委員会）において年内の政策金利見通しが下方修正されたことなどから市場は反発に転じました。7月以降は、世界の主要中央銀行が英国発の世界的混乱に対応し金融緩和策を実施するとの期待が高まったことや、中国の4-6月期GDP成長率が市場予想を上回ったことなどを受け堅調な推移となりました。11月の米大統領選挙でトランプ候補が予想外に勝利しましたが、同氏の掲げるインフラ投資拡大や法人税減税などの政策への期待から、期末にかけ一段高となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース] および [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース] は、主要投資対象である [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド]

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して投資銘柄を選定しました。
- (2) 大型株と中型株を中心に、ニーズが高く将来性が期待される薬品や既存薬にない特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業に注目しました。また、バイオテクノロジー業界内で多くの新興企業の中から銘柄を発掘するなど、厳選した企業に対する投資を行ってまいりました。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建て資産に対して対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド]

・投資環境

バイオ医薬品セクターの騰落率は、ここ数年、他のセクターを上回って推移してきました。この背景としては、1) 革命的な治療薬が市場に投入され、セクターのファンダメンタルズ(基礎的条件)が改善したこと、2) 株価のバリュエーション(投資価値評価)が2009年に付けた低水準から過去の平均的な水準に上昇したこと、3) 新薬のパイプライン動向から、今後数年にわたって良好なニュースが期待されること、4) M&A活動が活発化し、パイプラインの有望な中・小型企業に対する医薬品大手やバイオ企業による提案が散見されること、などが挙げられます。業界再編の動きは当面変わらないと見ており、バイオ医薬品企業の利益成長率は今後数年間、不測の事態を除き、相対的に高い成長性が期待されます。また、2016年11月の米大統領選においてトランプ氏が大方の予想に反して勝利したことは、薬価引き下げ圧力に対する過度の懸念の後退や法人税減税への期待など、バイオ医薬品セクターには追い風と見られています。

・運用方針

大型株と中型株を中心に、画期的かつニーズが高く将来性が期待される薬品や、既存薬に無い特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業に注目しています。また、足元の株価調整を受け、既に製品のある中型株など特定の銘柄については、再投資や買い増しなどの投資機会を探っていく方針です。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース]

主要投資対象である[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース]

主要投資対象である[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

<Aコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年11月19日～2016年11月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 458	% 2.052	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(241)	(1.080)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(193)	(0.864)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(24)	(0.108)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	18	0.081	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(18)	(0.081)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	5	0.025	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(5)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	481	2.159	
期中の平均基準価額は、22,327円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2015年11月19日～2016年11月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千口 2,207,848	千円 8,406,170	千口 398,493	千円 1,579,200

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2015年11月19日～2016年11月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	23,812,267千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	11,971,334千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.98	

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2015年11月19日～2016年11月18日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
為替先物取引	百万円 1,047	百万円 20,701	5.1	百万円 1,385	百万円 27,062	5.1

<Aコース>

<ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 12,137	百万円 2,366	% 19.5	百万円 1,322	百万円 512	% 38.7

平均保有割合 28.6%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2016年11月18日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	口 数		口 数	評 価 額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千口 516,106		千口 2,325,462	千円 9,455,328

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2016年11月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千円 9,455,328	% 89.4
コール・ローン等、その他	1,121,261	10.6
投資信託財産総額	10,576,589	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(21,147,543千円)の投資信託財産総額(24,111,047千円)に対する比率は87.7%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=110.18円、1スイスフラン=109.32円、1スウェーデンクローナ=11.92円、1ノルウェークローネ=12.88円、1デンマーククローネ=15.71円、1ユーロ=116.93円、1豪ドル=81.52円。

<Aコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年11月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	19,261,678,945
コール・ローン等	1,118,718,294
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド(評価額)	9,455,328,874
未収入金	8,687,631,777
(B) 負債	9,860,140,565
未払金	9,273,847,980
未払収益分配金	440,795,514
未払解約金	102,975,863
未払信託報酬	42,451,994
未払利息	2,248
その他未払費用	66,966
(C) 純資産総額(A-B)	9,401,538,380
元本	4,407,955,145
次期繰越損益金	4,993,583,235
(D) 受益権総口数	4,407,955,145口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,329円

(注) 期首元本額は1,040,253,737円、期中追加設定元本額は3,621,405,540円、期中一部解約元本額は253,704,132円、1口当たり純資産額は2,1329円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額99,196,072円。(ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド)

○損益の状況 (2015年11月19日～2016年11月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 31,589
受取利息	3,378
支払利息	△ 34,967
(B) 有価証券売買損益	△ 321,232,213
売買益	604,119,282
売買損	△ 925,351,495
(C) 信託報酬等	△ 66,652,955
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△ 387,916,757
(E) 前期繰越損益金	685,477,616
(F) 追加信託差損益金	5,136,817,890
(配当等相当額)	(5,973,447,869)
(売買損益相当額)	(△ 836,629,979)
(G) 計(D+E+F)	5,434,378,749
(H) 収益分配金	△ 440,795,514
次期繰越損益金(G+H)	4,993,583,235
追加信託差損益金	5,136,817,890
(配当等相当額)	(5,975,236,750)
(売買損益相当額)	(△ 838,418,860)
分配準備積立金	244,682,102
繰越損益金	△ 387,916,757

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2015年11月19日～2016年11月18日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2015年11月19日～ 2016年11月18日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	5,975,236,750円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	685,477,616円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	6,660,714,366円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	15,110円
g. 分配金	440,795,514円
h. 分配金(1万口当たり)	1,000円

<Aコース>

○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金 (税込み)	1,000円
------------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年11月19日～2016年11月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 516	% 2.052	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(272)	(1.080)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(217)	(0.864)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(27)	(0.108)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	24	0.095	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(24)	(0.095)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	6	0.022	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(5)	(0.019)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	546	2.170	
期中の平均基準価額は、25,165円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2015年11月19日～2016年11月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千口 2,047,172	千円 7,915,500	千口 1,091,573	千円 4,488,300

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2015年11月19日～2016年11月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	23,812,267千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	11,971,334千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.98	

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2015年11月19日～2016年11月18日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース>

該当事項はございません。

<ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
為替直物取引	百万円 12,137	百万円 2,366	19.5	百万円 1,322	百万円 512	38.7

平均保有割合 71.4%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

<Bコース>

○組入資産の明細

(2016年11月18日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	2, 217, 210	3, 172, 809	12, 900, 643

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2016年11月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	12, 900, 643	92. 7
コール・ローン等、その他	1, 019, 385	7. 3
投資信託財産総額	13, 920, 028	100. 0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（21, 147, 543千円）の投資信託財産総額（24, 111, 047千円）に対する比率は87. 7%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=110. 18円、1スイスフラン=109. 32円、1スウェーデンクローナ=11. 92円、1ノルウェークローネ=12. 88円、1デンマーククローネ=15. 71円、1ユーロ=116. 93円、1豪ドル=81. 52円。

<Bコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年11月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	13,920,028,480
コール・ローン等	569,384,781
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド(評価額)	12,900,643,699
未収入金	450,000,000
(B) 負債	1,128,867,672
未払収益分配金	535,623,882
未払解約金	498,759,195
未払信託報酬	94,334,562
未払利息	1,144
その他未払費用	148,889
(C) 純資産総額(A-B)	12,791,160,808
元本	5,356,238,823
次期繰越損益金	7,434,921,985
(D) 受益権総口数	5,356,238,823口
1万口当たり基準価額(C/D)	23,881円

(注) 期首元本額は3,525,535,193円、期中追加設定元本額は3,441,344,416円、期中一部解約元本額は1,610,640,786円、1口当たり純資産額は2,3881円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額99,196,072円。(ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド)

○損益の状況 (2015年11月19日～2016年11月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 39,279
受取利息	13,085
支払利息	△ 52,364
(B) 有価証券売買損益	△1,366,757,559
売買益	867,719,800
売買損	△2,234,477,359
(C) 信託報酬等	△ 190,915,218
(D) 当期損益金(A+B+C)	△1,557,712,056
(E) 前期繰越損益金	738,390,886
(F) 追加信託差損益金	8,789,867,037
(配当等相当額)	(6,976,352,364)
(売買損益相当額)	(1,813,514,673)
(G) 計(D+E+F)	7,970,545,867
(H) 収益分配金	△ 535,623,882
次期繰越損益金(G+H)	7,434,921,985
追加信託差損益金	8,789,867,037
(配当等相当額)	(6,978,316,564)
(売買損益相当額)	(1,811,550,473)
分配準備積立金	202,767,004
繰越損益金	△1,557,712,056

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2015年11月19日～2016年11月18日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2015年11月19日～ 2016年11月18日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	7,232,154,981円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	738,390,886円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	7,970,545,867円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	14,880円
g. 分配金	535,623,882円
h. 分配金(1万口当たり)	1,000円

<Bコース>

○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金 (税込み)	1,000円
------------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド

運用報告書

第13期（決算日2016年11月18日）

作成対象期間（2015年11月19日～2016年11月18日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して、投資銘柄を選定します。 株式の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株組入比率	株先物比率	純資産額
	期騰落	中率	ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)	期騰落中率			
	円	%		%	%	%	百万円
9期(2012年11月19日)	16,526	41.4	156.21	50.3	97.5	—	4,422
10期(2013年11月18日)	29,877	80.8	310.85	99.0	96.8	—	9,050
11期(2014年11月18日)	44,430	48.7	492.84	58.5	95.7	—	10,448
12期(2015年11月18日)	53,654	20.8	593.89	20.5	91.9	—	14,665
13期(2016年11月18日)	40,660	△24.2	464.65	△21.8	100.0	—	22,356

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=ナスダック・バイオテック指数(円換算ベース))は、ナスダック・バイオテック指数(US\$ベース)を当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。
(出所)ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

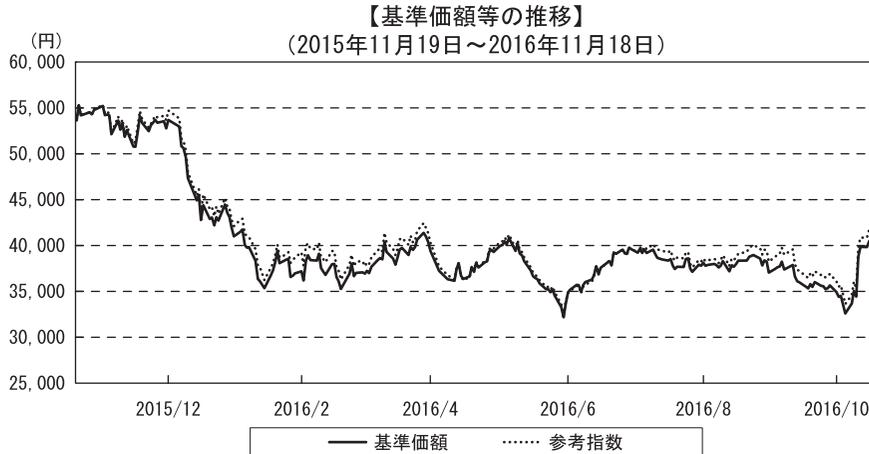
年月日	基準価額		参考指数		株組入比率	株先物比率
	騰落率	騰落率	ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2015年11月18日	53,654	—	593.89	—	91.9	—
11月末	55,221	2.9	612.50	3.1	92.3	—
12月末	53,693	0.1	605.59	2.0	93.6	—
2016年1月末	41,008	△23.6	466.13	△21.5	97.1	—
2月末	37,198	△30.7	434.37	△26.9	96.7	—
3月末	37,002	△31.0	420.52	△29.2	94.2	—
4月末	39,423	△26.5	446.10	△24.9	98.1	—
5月末	40,046	△25.4	447.97	△24.6	98.2	—
6月末	34,905	△34.9	385.36	△35.1	96.1	—
7月末	39,621	△26.2	439.43	△26.0	94.3	—
8月末	38,125	△28.9	427.37	△28.0	94.3	—
9月末	37,042	△31.0	423.20	△28.7	93.8	—
10月末	34,937	△34.9	399.79	△32.7	91.3	—
(期末)						
2016年11月18日	40,660	△24.2	464.65	△21.8	100.0	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首53,654円から期末40,660円となりました。

- (下落) 2015年11月開催のOPEC（石油輸出国機構）総会において原油減産見送りが決定され原油価格が下落したこと、中国経済の成長鈍化懸念が高まったこと、為替市場で円高の動きが強まったこと
- (下落) 米大統領選挙キャンペーンにおいて、薬価引き下げや規制強化を訴える候補が躍進したこと、英国のEU（欧州連合）離脱の是非を問う国民投票の結果、離脱派が勝利し、投資家心理が悪化したこと
- (上昇) 世界の主要中央銀行が英国発の世界的混乱に対応し金融緩和策を実施するとの期待が高まったこと、中国の4－6月期GDP（国内総生産）成長率が市場予想を上回ったこと、為替市場で円安の動きが強まったこと
- (下落) 7－9月期決算で、業績の下方修正を発表するバイオテクノロジー企業が相次いだこと、オランダのジェネリック医薬品メーカーのアレルギー治療薬の値上げを巡り、米民主党上院議員による批判が強まったこと
- (上昇) 11月の米大統領選で大方の予想に反し共和党トランプ氏が勝利し、過度の薬価引き下げ圧力に対する懸念が後退したこと、為替市場でドル高（円安）が進んだこと

○投資環境

世界の株式市場は、2015年11月開催のOPEC総会において原油減産の見送り決定などから原油価格が下落基調となったことや、中国経済の成長鈍化懸念が高まったことなどから、2016年1月下旬にかけ下落しました。その後、中国政府による景気刺激策への期待が高まったことや、2016年3月のFOMC（米連邦公開市場委員会）において年内の政策金利見通しが下方修正されたことなどから市場は反発に転じました。7月以降は、世界の主要中央銀行が英国発の世界的混乱に対応し金融緩和策を実施するとの期待が高まったことや、中国の4－6月期GDP成長率が市場予想を上回ったことなどを受け堅調な推移となりました。11月の米大統領選挙でトランプ候補が予想外に勝利しましたが、同氏の掲げるインフラ投資拡大や法人税減税などの政策への期待から、期末にかけ一段高となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

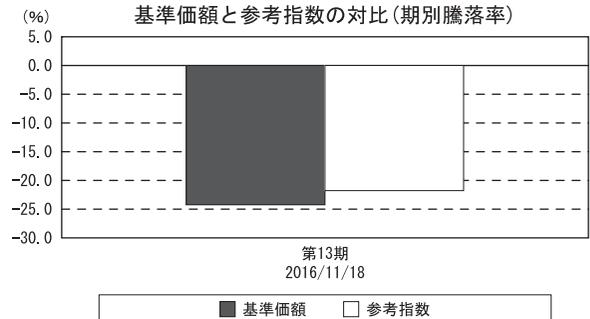
- (1) 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して投資銘柄を選定しました。
- (2) 大型株と中型株を中心に、ニーズが高く将来性が期待される薬品や既存薬にない特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業に注目しました。また、バイオテクノロジー業界内で多くの新興企業の中から銘柄を発掘するなど、厳選した企業に対する投資を行ってまいりました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）の21.8%の下落に対し、基準価額は24.2%の下落となりました。主なマイナスの差異要因としては、米国FDA（食品医薬品局）により筋ジストロフィー治療の申請が認められなかった米バイオ医薬品会社や、高齢者を対象とした呼吸器感染症治療薬の試験で有効性が示されなかったと発表した米バイオテクノロジー会社の株価が下落したことなどがあげられます。



(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

○投資環境

バイオ医薬品セクターの騰落率は、ここ数年、他のセクターを上回って推移してきました。この背景としては、1) 革命的な治療薬が市場に投入され、セクターのファンダメンタルズ（基礎的条件）が改善したこと、2) 株価のバリュエーション（投資価値評価）が2009年に付けた低水準から過去の平均的な水準に上昇したこと、3) 新薬のパイプライン動向から、今後数年にわたって良好なニュースが期待されること、4) M&A活動が活発化し、パイプラインの有望な中・小型企業に対する医薬品大手やバイオ企業による提案が散見されること、などが挙げられます。業界再編の動きは当面変わらないと見ており、バイオ医薬品企業の利益成長率は今後数年間、不測の事態を除き、相対的に高い成長性が期待されます。また、2016年11月の米大統領選においてトランプ氏が大方の予想に反して勝利したことは、薬価引き下げ圧力に対する過度の懸念の後退や法人税減税への期待など、バイオ医薬品セクターには追い風と見られています。

○運用方針

大型株と中型株を中心に、画期的かつニーズが高く将来性が期待される薬品や、既存薬に無い特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業に注目しています。また、足元の株価調整を受け、既に製品のある中型株など特定の銘柄については、再投資や買い増しなどの投資機会を探っていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年11月19日～2016年11月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 37 (37)	% 0.092 (0.092)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	8 (8) (0)	0.019 (0.019) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	45	0.112	
期中の平均基準価額は、40,685円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年11月19日～2016年11月18日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 34,270	千米ドル 161,809	百株 21,486	千米ドル 47,439
	スイス	94	千スイスフラン 1,391	94 (-)	千スイスフラン 1,549 (14)
国	デンマーク	233	千デンマーククローネ 6,437	1,223	千デンマーククローネ 38,976
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	フランス	-	-	931	991
	ベルギー	194	1,011	-	-

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

* ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2015年11月19日～2016年11月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	23,812,267千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	11,971,334千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.98

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2015年11月19日～2016年11月18日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
為替直物取引	12,137	2,366	19.5	1,322	512	38.7

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2016年11月18日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ABBVIE INC	—	214	1,320	145,479	バイオテクノロジー
ACADIA PHARMACEUTICALS INC	—	960	2,794	307,856	バイオテクノロジー
ACCELERON PHARMA INC	466	675	2,576	283,840	バイオテクノロジー
ACORDA THERAPEUTICS INC	—	800	1,701	187,476	バイオテクノロジー
ADVAXIS INC	1,176	—	—	—	バイオテクノロジー
ATMUNE THERAPEUTICS INC	639	—	—	—	バイオテクノロジー
ALDER BIOPHARMACEUTICALS INC	420	568	1,665	183,488	バイオテクノロジー
ALEXION PHARMACEUTICALS INC	316	735	9,045	996,652	バイオテクノロジー
ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	—	563	2,613	287,939	バイオテクノロジー
AMGEN INC	340	904	13,323	1,468,005	バイオテクノロジー
AMICUS THERAPEUTICS INC	3,655	—	—	—	バイオテクノロジー
ARIAD PHARMACEUTICALS INC	—	1,503	2,088	230,130	バイオテクノロジー
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	598	995	9,036	995,644	バイオテクノロジー
BIOGEN INC	192	495	15,826	1,743,755	バイオテクノロジー
BIO TECHNE CORP	—	228	2,406	265,120	ライフサイエンス・ツール/サービス
BLUEBIRD BIO INC	—	228	1,410	155,421	バイオテクノロジー
BLUEPRINT MEDICINES CORP	—	554	1,996	219,925	バイオテクノロジー
BRISTOL MYERS SQUIBB	—	320	1,818	200,345	医薬品
CARA THERAPEUTICS INC	810	—	—	—	バイオテクノロジー
CELGENE CORP	733	1,650	20,144	2,219,566	バイオテクノロジー
CERUS CORPORATION	—	2,976	1,714	188,881	ヘルスケア機器・用品
CHIMERIX INC	322	—	—	—	バイオテクノロジー
CLOVIS ONCOLOGY INC	—	385	1,400	154,334	バイオテクノロジー
COHERUS BIOSCIENCES INC	—	394	1,103	121,636	バイオテクノロジー
DYNAVAX TECHNOLOGIES CORP	—	845	380	41,915	バイオテクノロジー
EXELIXIS INC	—	1,774	2,971	327,427	バイオテクノロジー
FIVE PRIME THERAPEUTICS INC	—	184	1,062	117,106	バイオテクノロジー
GW PHARMACEUTICALS -ADR	—	50	643	70,940	医薬品
GILEAD SCIENCES INC	810	1,644	12,430	1,369,549	バイオテクノロジー
GRIFOLS SA-ADR	—	2,115	3,281	361,599	バイオテクノロジー
HALOZYME THERAPEUTICS INC	1,788	—	—	—	バイオテクノロジー
ILLUMINA INC	—	185	2,480	273,334	ライフサイエンス・ツール/サービス
IMMUNE DESIGN CORP	603	—	—	—	バイオテクノロジー
INC RESEARCH HOLDINGS INC-A	—	676	3,367	371,061	ライフサイエンス・ツール/サービス
INCYTE CORP	613	769	8,119	894,657	バイオテクノロジー
INTERCEPT PHARMACEUTICALS INC	144	170	1,964	216,441	バイオテクノロジー
INTRA-CELLULAR THERAPIES INC	—	227	308	34,021	医薬品
IRONWOOD PHARMACEUTICALS INC	—	1,265	2,048	225,730	バイオテクノロジー
JUNO THERAPEUTICS INC	—	491	1,503	165,628	バイオテクノロジー
KARYOPHARM THERAPEUTICS INC	285	—	—	—	バイオテクノロジー
KITE PHARMA INC	—	378	1,914	210,890	バイオテクノロジー
NEUROCRINE BIOSCIENCES INC	258	798	4,174	459,956	バイオテクノロジー
OPHTHOTECH CORP	—	165	582	64,165	バイオテクノロジー
PRA HEALTH SCIENCES INC	—	523	2,856	314,754	ライフサイエンス・ツール/サービス
PTC THERAPEUTICS INC	893	—	—	—	バイオテクノロジー
PORTOLA PHARMACEUTICALS INC	185	885	1,685	185,681	バイオテクノロジー

銘柄	株数	期首(前期末)		当期		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
PRONAI THERAPEUTICS INC	448	—	—	—	—	バイオテクノロジー
RADIUS HEALTH INC	—	418	2,226	245,260	—	バイオテクノロジー
REGENERON PHARMACEUTICALS	159	301	12,184	1,342,536	—	バイオテクノロジー
REGENXBIO INC	248	—	—	—	—	バイオテクノロジー
RELYPSA INC	594	—	—	—	—	医薬品
SAGE THERAPEUTICS INC	—	348	1,817	200,229	—	バイオテクノロジー
SEATTLE GENETICS INC	835	—	—	—	—	バイオテクノロジー
SHIRE PLC-ADR	—	336	6,060	667,756	—	バイオテクノロジー
SPARK THERAPEUTICS INC	—	197	1,143	126,045	—	バイオテクノロジー
TESARO INC	280	291	3,926	432,654	—	バイオテクノロジー
TG THERAPEUTICS INC	970	—	—	—	—	バイオテクノロジー
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	405	428	6,382	703,189	—	ライフサイエンス・ツール/サービス
ULTRAGENYX PHARMACEUTICAL IN	—	436	3,554	391,613	—	バイオテクノロジー
UNITED THERAPEUTICS CORP	138	—	—	—	—	バイオテクノロジー
VERTEX PHARMACEUTICALS	467	1,051	9,592	1,056,872	—	バイオテクノロジー
ALKERMES PLC	—	246	1,469	161,880	—	バイオテクノロジー
JAZZ PHARMACEUTICALS PLC	—	380	4,195	462,286	—	医薬品
PROTHENA CORP PLC	—	508	3,293	362,878	—	バイオテクノロジー
UNIQURE B. V.	679	—	—	—	—	バイオテクノロジー
小計	株数・金額	20,470	33,254	201,611	22,213,569	
	銘柄数<比率>	32	49	—	<99.4%>	
(デンマーク)				千デンマーククローネ		
NOVO NORDISK A/S-B	990	—	—	—	—	医薬品
小計	株数・金額	990	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>	
(ユーロ…フランス)				千ユーロ		
INNATE PHARMA SA	931	—	—	—	—	バイオテクノロジー
小計	株数・金額	931	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>	
(ユーロ…ベルギー)						
GALAPAGOS NV	—	194	1,124	131,512	—	バイオテクノロジー
小計	株数・金額	—	194	1,124	131,512	
	銘柄数<比率>	—	1	—	<0.6%>	
ユーロ計	株数・金額	931	194	1,124	131,512	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.6%>	
合計	株数・金額	22,392	33,449	—	22,345,081	
	銘柄数<比率>	34	50	—	<100.0%>	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2016年11月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	22,345,081	92.7
コール・ローン等、その他	1,765,966	7.3
投資信託財産総額	24,111,047	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産 (21,147,543千円) の投資信託財産総額 (24,111,047千円) に対する比率は87.7%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=110.18円、1スイスフラン=109.32円、1スウェーデンクローナ=11.92円、1ノルウェークローネ=12.88円、1デンマーククローネ=15.71円、1ユーロ=116.93円、1豪ドル=81.52円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年11月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	25,316,269,842
コール・ローン等	1,754,410,382
株式(評価額)	22,345,081,472
未収入金	1,207,712,100
未収配当金	9,065,888
(B) 負債	2,960,235,869
未払金	2,510,232,531
未払解約金	450,000,000
未払利息	3,338
(C) 純資産総額(A-B)	22,356,033,973
元本	5,498,271,661
次期繰越損益金	16,857,762,312
(D) 受益権総口数	5,498,271,661口
1万口当たり基準価額(C/D)	40,660円

(注) 期首元本額は2,733,317,264円、期中追加設定元本額は4,255,020,804円、期中一部解約元本額は1,490,066,407円、1口当たり純資産額は4.0660円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース 3,172,809,567円
 ・ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース 2,325,462,094円

○損益の状況 (2015年11月19日～2016年11月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	53,108,876
受取配当金	53,550,425
受取利息	85,260
支払利息	△ 526,809
(B) 有価証券売買損益	△ 2,614,029,823
売買益	1,756,758,518
売買損	△ 4,370,788,341
(C) 保管費用等	△ 2,494,076
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,563,415,023
(E) 前期繰越損益金	11,931,961,732
(F) 追加信託差損益金	12,066,649,196
(G) 解約差損益金	△ 4,577,433,593
(H) 計(D+E+F+G)	16,857,762,312
次期繰越損益金(H)	16,857,762,312

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。